

東京都江戸川区で今年も「腐葉土づくり講座」

たくさんの公園がある東京都江戸川区では、公園の管理上発生する落葉を集め腐葉土を作り、イベントの際などに区民へ安価で提供しています。また、特定の20ヶ所の公園では、毎年、区民に向けて腐葉土作り講座を開催し、その最終回では樹木医や弊社営業部が土作り・環境などについての講座を担当します。

東京都江戸川区では「落ち葉はゴミではない」という意識啓発と実践を学ぶため、「水と緑の区民カレッジ」と称して、毎年『腐葉土づくり講座』を開催しています。みどりのもったいない運動の一環として、公園の落ち葉をリサイクルして腐葉土を作り、実際に作業をしながら学ぶ全5回の体験型講座です。

2月の最初の回では、落ち葉と「VS34」、ヌカ、水を合わせて積み込み、3・4月の回では切り返し、5月の回では完成した腐葉土を持ち帰り、最終回の6月は、腐葉土づくりの作業で得た体験・知識を、座学で更に深めていきます。



腐葉土づくりに関わる微生物の写真などを紹介。

映像を観てもらいながら、弊社営業部員が「腐葉土と微生物」の関わりについて話したあとに、樹木医の小池伸男先生が「腐葉土づくりを体験し環境を学ぶ」というテーマでお話されました。

受講者からは、腐葉土の実際の使い方、落ち葉以外にどんなものが堆肥の材料として利用できるのか、イチヨウの葉はなぜ腐葉土に向かないのかなどの質問が寄せられ、今年も活発な講習会となりました。



熱心に聞き入る受講者。